赤磐市立図書館だより　2021年4月号

中央図書館：086-955-0076
赤坂図書館：086-957-2212
熊山図書館：086-995-1273
吉井図書館：086-954-9200

ホームページ：https://www.akaiwa-lib.jp

Facebookページ　Instagramページ

AKAIWA_LIBRARY

としょかんカレンダー

【4月】

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

■ は休館日

【開館時間】

●全館：午前１０時から午後6時まで
※中央図書館の毎週木曜日午後８時までの開館時間の延長は、当面の間中止いたします。

資料搬送サービスをご利用ください！

○赤磐市立図書館で借りた資料（図書や視聴覚資料）をお近くの協力施設の窓口で返却していただけるサービスです。
○返却受付は協力施設の開館時間のみです。（返却ポストはありません。）
○返却できるのは赤磐市立図書館所蔵の資料のみです。
○貸出期間の延長手続きなどはできません。

＜返却できる協力施設＞
・山陽公民館（赤磐市山陽1丁目10）
・高月公民館（赤磐市穂崎848-1）
・西山公民館（赤磐市西中220-1）
・笹岡公民館（赤磐市坂辺9）
・桜が丘いきいき交流センター（赤磐市桜が丘東5-5-391）
・仁堀出張所（赤磐市仁堀中1684-1）

◆返却するには・・・
① 返却したい図書などをお近くの協力施設窓口へ持っていく。
②「資料返却票」に氏名、返却冊数などの必要事項を記入する。
③ 返却したい図書などと返却票を窓口に渡す。

第63回　こどもの読書週間 4月23日～5月12日

「いっしょによもう、いっぱいよもう」

子どもたちにもっと本を、もっと本を読む場所をとの願いから、「こどもの読書週間」は１９５９年（昭和３４年）に誕生しました。開始当時より、図書館・書店・学校を中心に、子どもたちに本を手渡すさまざまな行事が行われています。

幼少のときから書物に親しみ、読書の喜びや楽しみを知り、ものごとを正しく判断する力をつけておくことが、子どもたちにとってどんなに大切なことか・・・。子どもに読書を勧めるだけでなく、大人にとっても読書の大切さを考えるとき、それが「こどもの読書週間」です。

シーガルズのBOOKトーク【第97回】

『岡山シーガルズ』は、赤磐市山陽ふれあい公園体育館を中心に活動し活躍中です。そんな岡山シーガルズの皆さんの“おすすめの１冊”をご紹介します☆

☆ 今回ご紹介するのは、背番号13番の遠藤　彩萌 選手!! ☆

お気に入りの食べ物は「果物が大好きです！」という、遠藤 彩萌　選手の「おすすめの一冊」です☆

おすすめの本「夢をかなえるゾウ」水野敬也／著
おすすめの一言
主人公と神様のゾウ（ガネーシャ）のかけあいがとても面白いです。ガネーシャの教えが心に響き、人生を充実させたい人や夢がある全ての人にぜひ読んでいただきたいです。

【 遠藤 彩萌　背番号13＊静岡県出身＊（ﾎﾟｼﾞｼｮﾝ）アウトサイドヒッター 】

こどもの読書週間おはなしかい

こどもの読書週間にちなみ、スペシャル版おはなし会を開催します！絵本の読み聞かせや工作など、小さなお子さんから大人まで楽しめる盛りだくさんの内容でお届けします。どうぞお楽しみに！

- 日　時　：　4月25日（日）午前10：30～11：30
- 場　所　：　中央図書館　多目的ホール
- 対　象　：　乳幼児～一般
- 出　演　：　「おはなしじゅうたん」の皆さん
- 定　員　：　25人（先着順、要申込）
- 参加費　：　無料

※3月24日（水）午前10時から、中央図書館で受付開始。電話でも受付可。

各図書館の新着資料からのおすすめ☆

● 中央図書館 ●

【一般書】

「嘘かまことか」
平岩　弓枝／著（９１４．６ヒ）

【内容紹介】
神様の書かれたシナリオを、大根役者の私が必死になって演じてきた…。「お宿かわせみ」の作者による、もうすぐ９０歳の幸福エッセイ。

【ヤングアダルト】(中・高生向き図書)

「図解でわかる１４歳から知る食べ物と人類の1万年史」
インフォビジュアル研究所/著（Y６１１．３ズ）

【内容紹介】
歴史上の大事件も、地球規模の危機も「食べること」が発火点だった！食べ物とその欲望の歴史から食のイノベーション、食の安全を目指す世界の動きに逆行する日本の政策までを、カラー図版を用いてわかりやすく解説する。

【児童書】

「そばにいるよ」
スムリティ・ホールズ／文（Eス　キ）

【内容紹介】
いつもいっしょの大きなクマと小さなリス。調子のいいときでも、悪いときでも、見守ってくれているともだちがいるのって、最高。でも、ときどき、ともだちって、ちょっとおもたくなって…。

【視聴覚資料】

「引っ越し大名！」
犬童　一心／監督（DVD）

【内容紹介】
江戸時代の姫路。書庫にこもって本を読んでばかりの引きこもり侍・片桐春之介は、「引っ越し奉行」に任命される。突然の大役に春之助は、武芸の達人の幼馴染、前任の引っ越し奉行の娘に助けを借りるが・・。

“地域コーナー展示ケース”今月の展示のご紹介
３月２日（火）～４月３０日（金）

展示作品：アートフラワー
作　　者：赤磐市立中央公民館自主学習グループ
「フラワーデザイン」毎週木曜日（9時～12時）

結成33年、以降公民館でお世話になっています。何種類もの白布地を切り、１枚ずつ染めアイロンを当て細かい手仕事をしています。できあがった1本1本に喜びを感じ、コロナ禍の中、ストレス解消、認知症予防に と・・・。

● 赤坂図書館 ●

【一般書】

「クララとお日さま」
カズオ・イシグロ／著（９３３イ）

【内容紹介】
人工知能を搭載したロボットのクララは、病弱の少女ジョジーと出会い、やがて2人は友情を育んでいく。愛とは? 知性とは? 家族とは? 生きることの意味を問う感動作。

【児童書】

「さくら村は大さわぎ」
朽木　祥／作
大社　玲子／絵（９１３ク）

【内容紹介】
さくらの木がたくさん植わっている、さくら村。それぞれのさくらの木には名前がついています。そんなさくら村では、とんでもないことや、笑っちゃうことなど、毎日いろんなことが起きて…。幸せいっぱいの日常物語。

● 熊山図書館 ●

【一般書】

「十日間の不思議」
エラリイ・クイーン／著
越前　敏弥／訳（B９３３ク）

【内容紹介】
たびたび記憶喪失に襲われるという旧友の懇願を受け、彼の故郷に赴いた探偵エラリイは、異常な脅迫事件の渦中へと足を踏み入れることになる。奇怪な出来事と論理の迷宮の果てに、真実へと至った名探偵は…。新訳。

【児童書】

「お菓子はすごい！」
菅又　亮輔／ほか著　（５９６オ）

【内容紹介】
菅又亮輔、捧雄介、音羽明日香、笠原将弘…４人のシェフ、パティシエが、子どもでも作れる方法で、プレゼントしたくなるおいしいお菓子のレシピを伝授。多くの写真でわかりやすい、子どものための料理本。

● 吉井図書館 ●

【一般書】

「櫓太鼓がきこえる」
鈴村　ふみ／著（Fス）

【内容紹介】
弱小相撲部屋に呼出見習いとして入門した１７歳の篤。実家を出たいがために、この道を選んだが、力士たちの挑戦に立ち会ううち、「呼出」という仕事の喜びに目覚めていく…。

【児童書】

「いないいないべー」
あきやま　かぜさぶろう／作
（Eア　ハナ）

【内容紹介】
おばけが、いないいなーいべー。ご機嫌ななめの子も泣きやむ！赤ちゃんの大好きな「いないいないばあ」と「あっかんべー」を組み合わせた本。